

## 11番 原田 靖 議員

## 1 教育行政について

- (1) 新学習指導要領が小学校等は令和2年度、中学校等は令和3年度から全面実施された。新しい指導要領では、資質・能力を「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の3つの柱に整理され、学校教育を通してよりよい社会を創るという理念が示された。鹿屋の子どもたちをどのように育てていくか。  
また、特徴ある取組を示されたい。
- (2) GIGAスクール構想により学校のICT環境が急速に整備されており、今後はこの新たなICT環境を活用するとともに
- ① 少人数によるきめ細かな指導体制の整備を進め、「個に応じた指導」をどのように充実していくか。
  - ② 持ち帰りを含め、十分に活用できる環境が整いつつある。その現状と今後の方向性を示されたい。
- (3) 子どもたちが経済的困窮を背景に教育や体験の機会に乏しく、地域や社会から孤立し、様々な面で不利な状況に置かれていたり、また、いじめの認知件数、不登校児童生徒数も増加傾向にある。誰一人取り残すことのない「持続可能な社会の創り手」を求めどのように育てていくか。
- (4) 核家族化、共働き家庭やひとり親家庭の増加など家庭をめぐる環境が変化するとともに、都市化や過疎化等により地域の社会関係資本が失われ家庭や地域の教育力低下が懸念される中、学校は学習機会を保障するという役割のみならず、居場所・セーフティネットとしての福祉的役割に期待が高まっている。今後、学校と家庭、地域がどのように連携していくか。
- (5) 鹿屋を学べる・語れる「かのや風土記～鹿屋学入門～」が編纂された。今後、学校教育においてどのように活用していくか。  
また、広く市民に広めるため増刷する考えはないか。

## 2 指定管理者制度等について

- (1) 指定管理者制度について、全体的に見直す時期にあると思うがどうか。
- (2) 指定管理契約や委託契約等において、最低賃金の改定はどのように取り扱っているか。